



TAKIKAWA ROTARY CLUB

本日は 第2869回 例会
プログラム
次年度活動計画・新委員会
No.2699 4月10日(木)

次週以降の予定
4月19日(土) 第二グループ都市連合会(IM)
4月24日(木) これからの滝川市観光振興
5月1日(木) 講師例会

第2868回 例会報告

2014年 4月3日(木)

会長挨拶・報告



皆さんこんにちは。本日も例会にご出席頂きありがとうございます。

今日は4月最初の例会日ですが今年の4月は例年と違った意味で重要な月と考えます。

4月1日より初まった消費税増税により今後の日本の社会とりわけ経済がいかなる方向に向かって行くのかまだわかりません。しかし私ども一国民としましては、この増税が現在少しずつ好転している経済を更に後押しして、大都市ばかりでなく地方の経済が活性化され元気を取りもどす事につながるよう願って止みません。

今日は釣り同好会担当の例会で滝川地区広域消防事務組合の嶋課長をお招きして「救急救助のすべて」との演題で講話をいただきます。よろしくお願い致します。

幹事報告



①. 芦別・深川RCより会報が届いております。

②. 本日、午後6時30分より第16回定例理事会を開催します。役員・理事の方はご出席をお願い致します。

SAAより座席について

4月の祝福

委員会報告

山口 恵子 親睦委員長

4月24日(木) マリアージュインベルコにて、午後6時より本年度最終の木曜フォーラムがございます。三品会長エレクトが講師をつとめます。多数のご参加をお願い致します。



深澤 和範 次年度幹事

一昨日の4月1日に、次年度第4回理事会と第1回クラブ協議会を終了致しまして、次年度の予算案、担当例会の

回数、例会のプログラム等を話し合っております。

次週4月10日の例会は、新理事会担当で新委員会別例会で委員会毎の席になります。新委員長を中心にして次年度の活動計画について話し合ってください。多くのメンバーが集まって頂きますことお願い致します。

ロータリー友誌4月号の紹介

先週のプログラム

■釣り同好会担当例会■

ーゲスト卓話ー



谷口 正樹 釣り同好会幹事

滝川RC釣り同好会幹事の谷口でございます。本日の例会は、滝川消防署の嶋 一芳課長をお招きし、ご講話をいただきます。

事業主旨を申し上げますと、釣りというものは非常に危険を伴っております。危険ということは、救急救助がついて廻るだろうと考えた訳であります。会員各位におかれましても、危険な事は突然起こるものでありますので、今回の例会を参考にいただければ幸いです。

ここで本日の嶋 一芳氏をご紹介させていただきます。現在、滝川消防署救急救助課長消防司令で、最終学歴は昭和56年駒澤大学法学部卒業後、同年4月、滝川消防署消防員拝命し現在に至っております。それでは、嶋課長宜しくお願い致します。

ー救急救助のすべてー



滝川消防署救急救助課長

消防司令 嶋 一芳 様

4月1日より旧芦別消防署・赤平消防署が滝川地区広域消防事務組合に統合されました。

職員数が174名、管轄人口は80,198人です。

- 救助には交通事故・水難・落雪・労災・火災等の事故が主にあります。中でも交通事故が一番多い。
- 救助体制は、消防車両・はしご車・船外機付ゴムボート・防災ヘリコプターがあります。
- 救助の事案の備え
 - ・基本訓練を毎日繰り返し行う。「基本なくして応用はない！」
- 救急-救急件数
 - ・増え続ける救急出動件数 1919件 (H25)
 - ・10年前平成16年出動件数 1783件 (H15)
 - ・過去、前年度比減～H20・H21
- 救急-救急体制の確立
 - ・ドクターヘリ運用(平成5年4月1日)
 - ・道内3基地(道央、道北、道東)
 - ・滝川消防署の過去要請件数～29件
- 救急-メディカルコントロール体制
 - ・メディカルコントロール=医療が救急隊を保障すること。(指示助言、研修、事後検証)
 - ・平成13年～国から通知
 - ・平成15年～中空知で構築(滝川消防署、砂川消防署、上砂川消防署、歌志内消防署、芦別消防署、赤平消防署)
 - ・二次医療圏での構築は道内2ヶ所。
- 救急-救命センター・ドクターカー
 - ・砂川市立病院救命センター運用開始(平成24年12月1日運用)
 - ・ドクターカー運用開始(平成25年12月1日)
 - 滝川消防署からの要請4件
- 救急-救命士の処置拡大
 - ・平成15年 AED(追加)
 - ・平成16年 気管内チューブ気道確保(追加)
 - ・平成18年 エピネフリン投与(追加)
 - ・平成21年 ビデオ硬性喉頭鏡を用いた気管挿管
 - ・平成26年血糖測定、ブドウ糖溶液の投与、ショック時の静脈路確保
- 応急手当普及の意義
 - ・秋田県秋田市では、毎年20～30人の心肺停止患者が社会復帰していることが実証されている。
 - ・救命には多くの市民が心肺蘇生法を身に付けることが必要。
 - ・多くの人が集まる対象物にAEDを設置することが有効である。
- 救急-応急手当普及
 - ・平成7年 国からの通知に基づき応急手当の普及が始まる。
 - ・滝川市 平成13年9月10日「滝川救命ボランティア2万人宣言」

・平成23年6月25日
「2万人達成」

■救命のポイント

- ・官民一体となって連携を組むこと。
- ・救命講習受講しましょう。
- ・みんなで尊い命を救いましょう。

最後になりましたが、2万人宣言は達成致しましたが、尊い命を救う為にまだまだ市民の皆様のご協力が必要でありますので、ロータリーの皆様のご支援ご協力をお願い申し上げ、本日のお話を終了致します。

ご静聴ありがとうございました。



中垣 陽一 会員

本日の講話をいただいた、嶋 一芳様、有り難うございました。

川原 弘嗣 会員

今年度最終の座席変更をさせていただいて。

本間 保昭 会員

結婚記念日にお祝いをいただき。

上田 秀司 会員

結婚記念日にお祝いをいただき。

三品 優次 会員

結婚記念日にお祝いをいただき。

鈴木 忠男 会員

結婚記念日にお祝いをいただき。

岡本 皓 会員

結婚記念日にお祝いをいただき。

松岡 高志 会員

結婚記念日にお祝いをいただき。

高山 訓正 会員

結婚記念日にお祝いをいただき。

北川 文夫 会員

結婚記念日にお祝いをいただき。

小山 進 会員

後輩の熱弁に感謝して。

谷口 正樹 会員

担当例会を終えて。

会長／中垣 陽一
幹事／鈴木 英光
編集／クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30
例会場●ホテルスエヒロ
事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16
TEL(0125)22-3344
FAX(0125)24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。